

平成22年度第1回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成22年4月19日（月）午後2時30分～4時15分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	有蘭 幸司
総合管理学部長	三浦 章
地域連携センター長	篠原 亮太
学術情報メディアセンター長	津曲 隆
アドミニストレーション研究科長	黄 在南
熊本近代文学館館長	河原畑 廣
学校法人昭和女子大学理事	渡辺 満利子

事務局：三角事務局次長、馬場総務課長、林田教務入試課長、高橋学生支援課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、教務入試課木村教務班長、教務入試課安達入試班長、教務入試課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

審議に先立ち、叢茂理事長に代わり、古賀学長から河原畑廣委員、渡辺満利子委員に任命書が手渡された。

（1）審議事項

① 平成23年度入学者選抜の実施方針案について

事務局教務入試課から、平成23年度入学者選抜の実施方針案について、資料1に基づき、「今年度（平成22年度）入学者選抜においては、「くまもと夢実現推薦入試」枠を新たに設け実施した。平成23年度入学者選抜については、選抜方法、入学定員、募集人員、選抜の日程及び実施方法は、平成22年度入学者選抜から変更を行わず実施する予定。大学院入試については、選抜方法、募集人員は、平成22年度入学者選抜から変更はないが、選抜日程については、社会人の志願者が多いことから、環境共生学研究

科博士後期課程の日程を平日から土曜日に変更することとしている。また、本学卒業生の大学院入学時の優遇措置（入学金免除制度）を平成23年度入学者選抜から導入する予定。この制度は、本学学部生で大学院へ進学を希望する学生について、一定の要件を満たす場合に、入学金を免除するものである。入試広報として、講演会事業を福岡県で行う予定。オープンキャンパスは、7月25日に文学部、環境共生学部、8月1日に総合管理学部を開催する予定。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成24年度熊本県立大学（一般入試）の実施教科・科目等案について

事務局教務入試課から、平成24年度熊本県立大学（一般入試）の実施教科・科目案について、資料2に基づき、「平成23年度一般入試の実施教科・科目からの変更箇所は、アンダーライン部分。まず、大学入試センター試験の利用科目として、高等学校における学習指導要領の改訂に伴い「倫・政経」を追加。個別学力検査の科目については、環境資源学科及び居住環境学科において、平成23年度一般入試では、理科、数学4科目から2科目選択であったが、平成24年度一般入試から数学を対象科目から除外して、理科3科目から1科目選択へ変更する予定としている。また、環境資源学科、居住環境学科及び食健康科学科の外国語において、これまでリスニングを含むとしていたが、リスニングのみを廃止する予定としている。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の改訂について

事務局教務入試課から、入学者受入方針（アドミッションポリシー）について、資料3に基づき、「今回の改訂の趣旨は、平成20年12月24日の中央教育審議会答申を踏まえ、「平成23年度大学入学者選抜実施要項」に入学者受入方針（アドミッションポリシー）を明確化する項目が追加されたことに伴い、改訂を行うもの。改訂案については、2の「入学者受入方針の現状」を踏まえ、一つ目の観点としては求める学生像がより具体的になるように、二つ目の観点としては志願者に求める習得内容がより明確となるように、三つ目の観点としては、受験生の学習目標となるように、各学部・学科において検討を行っていただき、その後入試委員会において決定されたものである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 特任教授の任用について

古賀学長から、特任教授の任用について、資料4に基づき、「本学は多様な教育研究を行うという点から、客員教授や、一般の方が客員研究員という形で大学の教育研究に携わるということを行ってきたが、これまでいろいろご協力いただいている先生に特任教

授をお願いしたいということで、地域連携センターから提案があった。対象は本田榮子先生で、本学の助教授として3年前まで勤められ、その後非常勤講師として、食健康科学科の教員の病休や育休などのサポートをしていただいたり、本学が高い評価を受けている食育のプログラムの立案や運営にも携わっていただくなど、栄養教育にも深く関わっていただいている。特に今年度は全国の食育学会、食品衛生学会の誘致にも成功しているので、それにも特任教授として関わっていただきたいと考えている。」との説明があった。続いて篠原地域連携センター長から、「地域連携センターではプロジェクト部門を設置して、本田先生を地域連携センター食環境研究情報室の室長として任用したいと考えている」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成22年度一般入試における追加合格者決定について

事務局教務入試課から、平成22年度一般入試における追加合格者決定について、資料5に基づき、「一般入試・前期日程における日本語日本文学科において欠員が1名、一般入試・後期日程における居住環境学科において欠員が2名生じたため、4月28日に追加合格者決定業務を実施した。」との報告があった。

② 平成22年度入学者の状況について

事務局教務入試課から、平成22年度入学者の状況について、資料6に基づき、「入学者の状況は、男性が31.9%で、ほぼ例年並み。県内出身者が76.5%で、平成19年度以降一番低い割合となっており、県外出身者がわずかだが増加傾向にある。定員充足率は、全体で109.8%であり、日本語日本文学科が最も高く、環境資源学科が最も低くなっている。九州外からの入学者は6名増、九州内の熊本県以外からの入学者は17名増、県内からの入学者は25名減。県外では福岡県からの入学者数が一番増えている。県内高等学校別の入学者で一番多かったのは平成21年度に続き第一高校で、2番目に多かった第二高校との差が25名と大きく広がっている。県外では、入学者が多いところは例年とあまり変わらないが、志願者数が10名以上の高校が平成19年度以降最高の9校となっている。大学院入学者については、全体の定員充足率が93.4%となっている。」との報告があった。

③ 平成22年3月卒業生の就職等状況について

事務局学生支援課から、平成22年3月卒業生の就職等状況について、資料7に基づき、「売り手市場から買い手市場ということで、採用数が抑制された。女子学生の門戸が狭くなっている。5月から9月に集中し、追加募集が行われず、全体の流れが見えなかった学生は苦戦した。就職決定者は平成22年度3月1日現在で、354人のうち303人で就

職率は 86.5%、昨年度に比べ 5.2%の減である。」との報告があった。

4 その他

次回日程は、5月17日（月）午後2時半～予定。

5 閉会